

発明の名称	電場を用いた被処理水からのリン除去方法(特許第 3536092 号)	
学内発明者	榊原 豊(元工学部)	
技術分野	環境保全、排水浄化	6
発明の概要	被処理水中のリン酸イオンを水に難溶性の塩にして沈殿させることにより、処理操作を簡単にし、化学薬品を添加せずかつ高効率でリンの除去を行うことができる。	
説明図		
ポイント	本発明の手法によると、沈殿剤をはじめとする化学薬品を使用しないため、環境浄化の面でも優位性がある。	

発明の名称	含窒素廃棄物の乾式処理方法とそのための装置(特許第 4787966 号)	
学内発明者	宝田 恭之(理工学府) 森下 佳代子(元工学研究科)	
技術分野	環境保全、排水浄化、畜産廃棄物処理	IP18-060
発明の概要	畜産廃棄物、下水汚泥などの含窒素廃棄物を熱分解し、熱分解により生成したガス成分をNi担持炭、Ni担持アルミナ、およびリモナイトから選ばれる少なくとも1種の触媒に接触させる。	
説明図		
ポイント	できるだけ低温で揮発性の窒素化合物を窒素ガスまで分解し、効率的にガスを無害化できる含窒素廃棄物の乾式処理方法とそのための装置を提供する。	